平成26年度公害健康被害予防事業研修

ぜん息児

コメディカルスタッフ 実地研修

参加無料

独立行政法人環境再生保全機構では、大気汚染の影響による健康被害を予防するための、ぜん息等の発症予防や、健康回復に向けたさまざまな事業を実施しています。

本研修は、その一環として、アレルギー疾患児やその家族の指導に従事する方々を対象に、医療機関が実施するサマーキャンプにスタッフとして参加していただくことにより、専門医やアレルギーエデュケーター等による児童への指導・管理体制、対応方法を直に経験していただくものです。

○対象キャンプ　独立行政法人国立病院機構　福岡病院サマーキャンプ

○対象者　公害健康被害予防事業対象地域内（別添参照）における医療機関や地方公共団体の保健事業等に関わる看護師、保健師、栄養士、薬剤師、心理士、理学療法士等アレルギー疾患児、家族の指導に従事するコメディカルスタッフ

○開催日時等

①サマーキャンプ事前講習、予診実習
日時：平成26年**7月19日（土）～20日（日）**
場所：福岡病院研修センター及び外来棟（福岡市南区屋形原4-39-1）
※申し込まれる方は必ず①を受講していただく必要があります。

②サマーキャンプ実習
日時：平成26年**8月19日（火）～22日（金）**
場所：佐賀県北山少年自然の家（佐賀市富士町大字関屋）

○募集人数：**10名**程度
○参加費用：**無料**（交通費・宿泊費支給）
○申込期間：平成26年**6月16日（月）**まで
○申込方法：別紙「研修生推薦書」にご記入の上、下記の研修事務局宛にお送りください。
締切日までのご提出が難しい場合は、あらかじめご連絡ください。
※申込み等の詳細につきましては、「平成26年度コメディカルスタッフ実地研修実施要領」をご参照ください。

お申込み・お問合せ先
独立行政法人環境再生保全機構　予防事業部事業課　担当：穴吹・米原
TEL: 044-520-9567　FAX: 044-520-2134
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310　ミューザ川崎セントラルタワー8階

ERCA 独立行政法人 環境再生保全機構

福岡病院サマーキャンプについて

昭和45年の開始以来、今年で第44回目となる「福岡病院サマーキャンプ」は、ぜん息だけでなく、アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどのアレルギー疾患にも対応した「サマーキャンプ」となりました。

キャンプでは、共通の病気を持った子どもたちが、「苦しんでいるのは自分だけではない、仲間がいるのだから、頑張っていこう」という気持ちで一緒に生活し、学び、レクリエーションを体験します。元気でやる気のある方々の参加をお待ちしています。

活動内容

①アレルギー教室
　キャンプ1日目に、喘息、アトピー性皮フ炎、食物アレルギーの学習プログラム実施

②医療スタッフとして班の児童への介入

学べるポイント

〇事前診察での参加児童の健康状態、病状、生活、心理的側面の情報収集の方法
〇アレルギー疾患児に対応する医療スタッフとしての業務、心得
〇アレルギー疾患の治療管理の動機づけ
〇アレルギー疾患の自己管理方法や対処方法などの教育（キャンプ活動を通して）
- 気管支喘息（ピークフローモニタリングの活用、インターバルトレーニング、服薬管理、吸入、排痰、腹式呼吸、冷水シャワーなどの指導法）
- アトピー性皮膚炎（スキンケア教育、症状がある時の対処法の指導）
- 食物アレルギー（エピペン、食事中の注意点、食育、キャンプにおける食物アレルギー児の対応）

〇自立心、協調性獲得のための関わり
〇児童の経過報告、継続的支援について

～（参考）平成２５年度研修プログラム～

①サマーキャンプ講習、予診実習

■１日目

日時	講義テーマ
13：00	医療キャンプの中での福岡病院キャンプの特徴
13：15～14：15	患者教育のための基礎と実践①気管支喘息
14：15～15：00	患者教育のための基礎と実践②アトピー性皮膚炎
15：00～15：15	中休み
15：15～16：00	患者教育のための基礎と実践③食物アレルギー
16：00～16：25	子どもとの接し方（エゴグラムを用いて）
16：25～16：55	アレルギー児対象キャンプにおけるレクレーションの意義
17：00～17：40	予診ガイダンス
18：00～19：00	意見交換

■２日目

日時	実習テーマ	実習内容
8：30～11：30	サマーキャンプ予診	ぜん息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー児の問診・診察・検査・治療のチェックから重症度判定までの流れ
11：30～12：15	サマーキャンプ顔合わせ	グループリーダー、参加するこどもたちからなる仮グループメンバーによる自己紹介、キャンプに向けてのグループ形成へのサポート
12：20～13：00	昼食	
13：00～14：30	サマーキャンプガイダンス 目的、方法、疾患の基礎、セルフケア法 注意点	グループリーダーへのキャンプオリエンテーション、病気の説明、対処の方法、注意事項の説明
14：45～16：00	予診後ミーティング	参加するこどもたちの重症度、心理テストや問診を基にし、セルフケアの立案。安全性やグループ内でのこども交流を予想したグループメンバーの調整
16：00～16：15	修了式	修了証の授与
16：15～	解散	

②サマーキャンプ実習（以下のスケジュールに沿って、業務を分担し行ないます）

■１日目

日時	活動	実習内容
7：30	研修生オリエンテーション	
8：00	児童集合、出発前診察	ぜん息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー児の問診・診察・予診後の治療変更のチェック
9：30	バスで出発	グループリーダー・参加するこどもたちからなるグループメンバーによる自己紹介、キャンプに向けてのグループ形成へのサポート
12：00	到着、入所式、昼食	
13：30	班旗づくり	参加児がグループの中で役割を持って行動し、グループとしてまとまるためのサポート。グループリーダーへのサポート。
14：30	アレルギー講話 1. 喘息 2. アトピー性皮膚炎、食物アレルギー	小学生に対する疾患の説明、症状、対処法、自己管理の方法、実践、キャンプ後も継続できるようなモチベーションの形成、場合によりグループディスカッション
16：00	診察・ピークフロー・縄跳び 排痰・腹式呼吸	ピークフローを用いた体調の把握、症状を周囲に伝え、対処法を自分で考え行うための支援。
17：30	夕食、入浴、スキンケア、吸入	食事についてのはなし、除去食のチェック。入浴時の体の洗い方、スキンケアのチェックと指導。吸入法のチェックと指導。
19：45	ナイトウオーク	参加児がグループの中で役割を持って行動し、グループとしてまとまるためのサポート。グループリーダーへのサポート。
21：00	振り返り，消灯	クールダウン、グループ形成へのサポート
22：00	スタッフミーティング	全体を通したレクレーションと医療とのバランス調整。グループリーダーから困っていることや思いを引き出し、討論、あすのメニューの調整を行う。

■２日目

日時	活動	実習内容
6：00	起床	
6：45	診察・ピークフロー・駆け足	ピークフローを用いた体調の把握。症状を周囲に伝え、対処法を自分で考えるための支援。
7：30	朝食、スキンケア、吸入	除去食のチェック。スキンケアのチェックと指導。吸入法のチェックと指導。
9：00	ウオークラリー	アレルギークイズを取り入れたウオークラリー。ピークフローを用いた体調の把握、症状を周囲に伝え、対処法を自分で考えるための支援，参加児がグループの中で役割を持って行動し、グループとしてまとまるためのサポート。グループリーダーへのサポート。
12：00	弁当	除去食のチェック。
16：00	診察・ピークフロー・縄跳び・排痰・腹式呼吸	ピークフローを用いた体調の把握。症状を周囲に伝え、対処法を自分で考え行うための支援。
18：00	夕食、入浴、スキンケア、吸入	除去食のチェック。入浴時の体の洗い方、スキンケアのチェックと指導。吸入法のチェックと指導。
19：30	工作	参加児がグループの中で役割を持って行動し、グループとしてまとまるためのサポート。グループリーダーへのサポート。
21：00	振り返り、消灯	クールダウン、グループ形成へのサポート
22：00	スタッフミーティング	全体を通したレクレーションと医療とのバランス調整，ボランティアリーダーから困っていることや思いを引き出し、討論。あすのメニューの調整を行う。

■３日目

日時	活動	実習内容
6：00	起床	
6：45	診察・ピークフロー・駆け足	ピークフローを用いた体調の把握、症状を周囲に伝え、対処法を自分で考えるための支援。
7：30	朝食、スキンケア、吸入	除去食のチェック。スキンケアのチェックと指導。吸入法のチェックと指導。
9：00	野外調理（カレー）	食育指導。除去食作成の手順と工夫、注意事項の説明。症状が起きやすい活動を行い、症状を周囲に伝え，対処法を自分で考え行動するための支援。 グループの中で役割を持って行動し、まとまるためのサポート活動。グループリーダーのサポート。
12：00	昼食・片づけ	除去食のチェック。参加児童がグループの中で役割を持って行動し、まとまるためのサポート活動。グループリーダーのサポート。
14：00	キャンプファイヤー準備	グループの中で役割を持って行動し、まとまるためのサポート活動。グループリーダーのサポート。
14：30	運動誘発喘息（ＥＩＡ）チェック	フリーランニングによる運動負荷試験の手技と判定法を学ぶ。症状を周囲に伝え、対処法を自分で考え行動するための支援。
15：30	診察・ピークフロー・縄跳び・排痰・腹式	ピークフローを用いた体調の把握、症状を周囲に伝え、対処法を自分で考え行うための支援。
18：00	夕食、入浴。スキンケア、吸入	除去食のチェック。入浴時の体の洗い方、スキンケアのチェックと指導。吸入法のチェックと指導。
19：30	キャンプファイヤー	参加児童がグループの中で役割を持って行動し、まとまるためのサポート活動。グループリーダーのサポート。
21：30	振り返り、消灯	クールダウン、グループ形成へのサポート
22：30	スタッフミーティング	全体を通したレクレーションと医療とのバランス調整。グループリーダーから困っていることや思いを引き出し、討論。あすのメニューの調整を行う。 参加児童それぞれにカンファレンスを行い、家庭状況、生活、病状を把握し、トータルケアをスタッフ、グループリーダーと考える。

■４日目

日時	活動	実習内容
6：00	起床	
6：45	診察・ピークフロー・駆け足	ピークフローを用いた体調の把握、症状を周囲に伝え、対処法を自分で考えるための支援。
7：30	朝食，スキンケア，吸入	除去食のチェック。スキンケアのチェックと指導。吸入法のチェックと指導。
8：45	清掃・荷物整理・退所点検	参加児童がグループの中で役割を持って行動し、まとまるためのサポート活動。グループリーダーのサポート。
9：30	退所式、作文、目標作成、表彰	参加児童がグループの中で役割を持って行動し、まとまるためのサポート活動。グループリーダーのサポート。キャンプ後の生活での参加児童へのモチベーション形成への働きかけ。
11：00	昼食	除去食のチェック。
12：00	青年の家出発	
14：00	病院到着、作文、解散式、エゴグラム	4日間のまとめ。キャンプ後の生活でのモチベーション形成への働きかけ。
14：40	個人面接	サマーキャンプでの生活面、医療面トータルの報告。今後の家庭での生活、治療のアドバイス。家族からの具体的な支援方法について考える。
16：30	スタッフ反省会	グループリーダーの感想を聞き、今後の生活に役立ててもらうような関わりを行う。
17：00	スタッフ研修修了証授与	